



# 「映画感想文コンクール2015」関連本のご案内

実例作文  
多数収録!

▶実例作文紹介ページ

映画感想文実例 ●ミュージカル

09 実例作文  
映画「ANNIE/アニー」の感想文

「アニーを見て」

お母さんが映画に連れて行ってくださいました。いままで、「アナと雪の女王」などディズニーのアニメは見たことはありますが、ぜんぶ日本語で、字まくの映画ははじめてでした。英語は分からないし、字まくが読めるかなととてもドキドキしました。

でも、映画館を出て、「トゥモロー、トゥモロー」と歌っているわたくしがいます。お母さんに「アニーって、すごいよね。子どもなのに英語がしゃべられるんだ」と言ったら、「あなた、おもしろい子ね」と笑われてしまいました。そうか、アニーはアメリカの子だから、英語は話せるのですね。

映画はお父さん、お母さんがいないアニーがお金もちの男の人と出会って、幸せになるミュージカルです。アニーはわたしと同じ十さいだけど、頭がよくて、歌が上手で、こんなお友だちがいたら、楽しいだろうなと思いました。

**ポイント①** ポイントの映画のストーリーを簡単にまとめます。年齢を出すことで、アニーと作者の共通点が見えます。

**ポイント②** 映画を見た後は、見る前に抱いた不安な気持ちが一変して、いることが伝わります。お母さんとの会話も微笑ましくします。

**ポイント③** 状況を具体的に説明し、出さず、ほかに映画の題名を出さず、初めての字まく映画であることも分かります。

映画について

世界中で大ヒットしたミュージカルを現代のニューヨークを舞台に映画化。どんな時でも前向きなアニーが市長候補の妻と出会う、次第に絆を深めていく。アニー役には「ハッシュバニー」のスタッフの少女「ウァレス」

088

## 尾木ママも推せん!

(尾木直樹氏)

自分を見つめ、他者への共感力を育む映画感想文。コミュニケーションを深める手段としてもオススメ! 多くの子どもたち、保護者、教員に広がってほしい取り組みです。

映画感想文実例 ●ミュージカル

「ANNIE」

習っていないので、英語は少ししか知りませんが、「トゥモロー」という言葉は知っていました。わたしの大好きなディズニーランドに「トゥモローランド」というところがあるからです。「トゥモロー」は明日。「ランド」は土地とか陸という意味だと、お母さんが教えてくれました。

トゥモローランドは明日の土地。だからあんなに楽しいのです。それを、お父さんに教えてあげたら、喜んでくれました。そして「今度はお父さんがディズニーランドに連れて行ってあげるよ」と約束してくれました。

これもアニーのおかげです。

映画を見ると、発見やうれしいことがありますが、英語がわからなかったら、映画がもっと面白いのだからと思います。だから、わたしは早く英語を勉強したいです。アニーのように英語がしゃべられるようになりたいです。そうしたら、アニーみたいな子とお友だちになれるかな。

**ポイント④** 今の自分の気持ちや考えを、お母さんやお父さんに話しかけたら、どうなるかなと想像してみます。

**ポイント⑤** 筆者は、主人公と同じく、初めての字まく映画を見て不安な気持ちがあった。周りの大人が話を聞いてくれた。映画が面白かった。自分の気持ちや考えを、お母さんやお父さんに話しかけたら、どうなるかなと想像してみます。

090

小学生のための  
**映画感想文のすすめ**

好評発売中

定価:1200円(税別) / 判型:A5判並製 / 発売:キネマ旬報社

- ◆尾木ママに聞く「映画感想文」のすすめ
- ◆映画感想文の書き方
- ◆映画感想文実例紹介

小学生のための映画感想文のすすめ

読書感想文に代わる新しい試み

映画感想文コンクールに入賞した実例作文多数収録!

映画感想文  
尾木ママも推せん!

「自分を見つめ、他者への共感力を育む映画感想文。コミュニケーションを深める手段としてもオススメ! 多くの子どもたち、保護者、教員に広がってほしい取り組みです。」